

2013年度 前期		リフレクションペーパー						
学科名	電気通信工学科							
科目名	電子回路 I (集中講義)							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	3年前期			
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース) / 必修科目(電気エネルギーコース) / 必修科目(情報システムコース)							
担当者	江崎 秀							
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイオード、バイポーラトランジスタ(BPT)、FETの基本特性を理解し、近似できる。(B3) ・ダイオードを用いた整流回路を覚え、解析することができる。(A7,B3) ・BPTの動作のしくみを理解し、バイアス回路の適切な設計指針を覚える。(A7,B3) ・基本的なBPTエミッタ接地増幅回路を覚え、直流回路と交流回路に分離できる。(A7,B3) ・BPTの小信号等価回路を覚え、エミッタ接地回路を小信号等価回路で表現できる。(B3) 							
内容	8/1 小テスト① 8/1 小テスト② 8/2 午前① 8/2 午前② 8/2 午後① 8/2 午後② 8/2 午後③ 8/3 午前① 8/3 午前② 8/3 午後① 8/3 午後② 8/5 電子回路 I 定期試験 8/5 電子回路 I 演習定期試験							
成績評価基準	定期試験	90%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	0%		
	演習	10%	計	100%				
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイオード、バイポーラトランジスタ(BPT)、FETの基本特性を理解し、近似できる。:FETの解説は不十分だった ・ダイオードを用いた整流回路を覚え、解析することができる。:達成した ・BPTの動作のしくみを理解し、バイアス回路の適切な設計指針を覚える。:達成した ・基本的なBPTエミッタ接地増幅回路を覚え、直流回路と交流回路に分離できる。:達成した ・BPTの小信号等価回路を覚え、エミッタ接地回路を小信号等価回路で表現できる。:達成した 							
反省点	再履修生専用の集中講義である。全員合格したことは評価できる。学期修了後、集中的に「問題を解くこと」に集中して授業を組み立てたことと、不合格になれば留年が確定することが理由と思われる。しかし、解説を最小限にしたため、本質を理解しているかどうかは不安が残る。							
来年度の計画	再履修生数が多く、集中講義を別途開催することを迫られた。可能であれば、集中講義を開講しない方向で考えたい。							
授業評価アンケートに対するコメント	10点総合評価で平均9.1点という高い得点は、集中講義としたことと合格しなければ留年という切迫感によるものと思われる。残念ながら、本来の授業をこの形態で行うことはできない。							
履修登録者数	32名	定期試験受験者数	29名	合格者数	29名	合格率	100%	